

新学期が始まり、1ヶ月あまりが経ちました。前向きに生活する子ども達の姿が見られます。4月当初の緊張感が和らぎ、様々な姿も見られてくる時期でもあります。一人ひとりの様子を捉えながら、支えていきたいと思えます。

明日の遠足は、実施可能な見込みでいます。先週に続いてのお弁当になり、ご負担をおかけし申し訳ありません。子ども達の安全を第一に、春の野山を、自然・文化を楽しむ一日にしたいと思います。



温かな会になりました



4月25日に、1年生を迎える会がありました。この日のために、6年生を中心に、各学年で準備を進めてきました。学校は楽しいところですが、守らなくてはいけないこともあります。

2～5年生が、体育館や下駄箱の使い方、給食準備や掃除の仕方を、演技や〇×クイズを交えながら伝えてくれました。「このことは知っておいた方がいい」と、内容を自分たちで吟味し、「どうすれば伝わるかな」と、伝え方を友達と練ってきたことが発表から伝わってきました。それを、1年生がよく聴き、応えていました。6年生からは心温まるプレゼントが贈られました。うれしそうな1年生の顔が印象的でした。

先日、廊下を歩く1年生が、「まだ勉強している人がいるから、静かに歩かなきゃいけないよ」と話していました。「自分で考えて行動する」姿を頼もしく思いました。そんな1年生のみんななら、お兄さんお姉さんに教わったことを活かして、充実した学校生活を過ごしてくれると思いました。



「1つになれる1人になれる」

PTA総会でお伝えしたように、今年度子ども達に育みたい力として、以下の3つを大事に考えています。

「自分で考えて行動する」 「人も自分も大切にする」 「1つになれる1人になれる」

そのうちの1つ、「1つになれる1人になれる」について、あるクラスで担任と子ども達が話をしていました。

「1つになるとき」ってどういうときか、担任が問いかけました。子どもたちは、掃除・給食・学習など生活の様々な場面をあげました。

続いて、「1つになるとき」についても尋ねました。何か大きな行事のときとか、クラスでイベントを行うとき等が出されると思ったら、子どもたちからまず出てきたのは、「困ったとき」でした。助け合える普段の人間関係が透けて見えました。それから、「目標などを考えるとき」という答えが出てきました。その子は続けて、「1人では思いつかないことも、みんなとだったら考えられる」と話しました。友達が存在が、自分の考えを深めるより所になっていると感じました。1年を通して、「1つになれる1人になれる」姿を育てていきたいと思います。

不審者対応について

今年度も、子どもたちの安全を守る上で大事に考えることの1つは、不審者対応です。子どもたちには、「いかのおすし」という言葉で指導しています。その内容を右に載せました。1番心配するのは、何もできずに動けなくなってしまうことです。大きな声を出す、近くの家に助けを求める等、何らかのアクションを起こすことが求められます。機会を捉えながら、そのことを子どもたちに伝えていきます。ご家庭でも話題にしてもらえたらと思います。



不審者対応に関しては、お家の皆様との連携が不可欠です。何か心配な事がありましたら、すぐにご連絡いただければと思いますし、対応についてはお家の方と相談しながら進めます。ただし、緊急性のある場合は、子どもの安全を優先に対応します。

不審者対応はケースバイケースであり、状況を捉えながらパトロール、児童・家庭への周知、地域や警察との連携を進めていきます。警察への通報も相談させてもらい、その判断はお家の方に行ってもらうようになります。

声掛け事案等、子ども達への親しみから声をかけられるケースがあります。ただそれが、子どもたちにしてみれば大きな不安になります。慎重に判断しつつ、対応していきたいと思っています。

一人ひとりが輝く学びの場作りのために

今年度茅野市では、「縄文のビーナス・プラン」を立ち上げ、「みんな同じ」から一人ひとりの多様性や力、良さを伸ばす教育への転換に取り組んでいます。その一環として、一人ひとりが輝く学びの場作りのために、以下のことに取り組んでいきます。

- ① <ミニサポートルーム>を設置し、教室では過ごしづらいときの学びの場、居場所を確保します。場所は、会議室、相談室を位置付けてありますが、子どもの様子により、臨機応変に対応します。そこで行う活動は子どもと相談しながら、自己決定できることを大切にします。
- ② <校内こどもサポートセンター>を相談窓口とし、保護者の皆様が一人で悩みを抱え込まないよう支援します。校長(宮坂)、教頭(村瀬)、こどもサポートコーディネーター(五味)、教務主任(大澤)までお電話ください。それ以外の、話しやすい職員とつなぐこともできます。